

様式1 設計業務成果閲覧通知書（第12条関係）

設計業務成果の閲覧日時について（通知）

〇〇〇建設株式会社 〇〇課 〇〇様

貴社より申込みのあった設計業務成果の閲覧日時について、以下のとおり通知します。

工 事 名	〇〇〇川橋上部工工事
閲 覧 日	平成 年 月 日
閲 覧 時 間	〇〇時 から 〇〇時

注1) 閲覧当日は設計業務成果閲覧申込書の本紙を持参して下さい。

注2) 閲覧当日は、下記閲覧窓口までお越し下さい。

注3) 本設計業務成果の外部への持ち出し及び社屋内でのコピーを禁止します。

注4) 閲覧時間は〇時間以内とします。

注5) 設計業務成果の取扱いには十分にご注意願います。仮に破損等の事実が判明した場合は、その損害修復に要する費用を請求します。

注6) 本設計業務成果の内容に関する質問等については受け付けません。また、コンサルタント会社への問い合わせ等を行ってはならないものとします。

注7) 本設計業務成果の閲覧により得られた情報については、本工事の競争参加資格確認資料の作成以外の目的に使用することを禁止します。また、第三者への提供についても禁止します。

閲覧窓口：西日本高速道路株式会社●●支社経理課

TEL 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 : FAX 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

様式 2—1 競争参加資格確認結果通知書（施工能力評価型（簡易型））（第 13 条・第 14 条関係）

競争参加資格確認結果通知書

文 書 番 号
平成 年 月 日

商号又は名称

代表者氏名 殿

西日本高速道路株式会社

●●支社長 ●● ●● 印

先に申請のあった（件名を記載）工事に係る【条件付】一般競争参加資格の確認結果について、下記のとおり通知します。

記

入札公告日	平成 年 月 日	
工 事 名	工事	
競争参加資格の有無	有 ・ 無	
	競争参加資格がないと認めた理由	
技術提案に対する事項	技術提案のうち、入札説明書第 8（●）●により評価しない提案：別添のとおり【第 14 条第 1 項第 4 号に該当する技術提案があった場合に記載する】	
摘 要	契約書第 4 条に基づく契約の保証は、免除します。 【契約の保証を免除する場合に記入する。】	

競争参加資格がないと通知された方は、当職に対して競争参加資格がないと認めた理由についての説明を求めることができます。

この説明を求める場合は、平成 年 月 日 時までに●●支社経理課へその旨を記載した書面を提出してください。

別添

商号又は名称

代表者氏名 殿

西日本高速道路株式会社

●●支社長 ●● ●●

評価しない提案

技術提案のうち入札説明書第8（●）●に該当するものとして評価しない提案を下記のとおり通知します。なお、落札者となった場合、下記提案を履行する必要はありません。

工事名：○○工事

評価しない提案	理由
① ●●の提案	●●のため
② ○○の提案	○○のため

様式 2-2 競争参加資格確認結果通知書（施工計画提案型（標準型）及び高度技術提案型）（第 13 条・第 14 条関係）

競争参加資格確認結果通知書

文 書 番 号
平成 年 月 日

商号又は名称

代表者氏名 殿

西日本高速道路株式会社

●●支社長 ●● ●● 印

先に申請のあった（件名を記載）工事に係る【条件付】一般競争参加資格の確認結果について、下記のとおり通知します。

記

入札公告日	平成 年 月 日	
工 事 名	工事	
競争参加資格の有無	有 ・ 無	
	競争参加資格がないと認めた理由	
技術提案に基づく入札の可否等	可 ・ 否（入札に際しては標準案によること）	【技術提案の採否について「否」とされた場合、標準案により施工することについて意思表示している者に通知する場合に記入する。】
	技術提案に基づく入札が否とされた理由	
	その他	技術提案のうち、入札説明書第 8（●）●により評価しない提案：別添のとおり【第 14 条第 1 項第 4 号に該当する技術提案があった場合に記載する】
摘 要	契約書第 4 条に基づく契約の保証は、免除します。 【契約の保証を免除する場合に記入する。】	

競争参加資格がないと通知された方は、当職に対して競争参加資格がないと認めた理由についての説明を求めることができます。

この説明を求める場合は、平成 年 月 日 時までに●●支社経理課へその旨を記載した書面を提出してください。

別添

商号又は名称

代表者氏名 殿

西日本高速道路株式会社

●●支社長 ●● ●●

評価しない提案

技術提案のうち入札説明書第8（●）●に該当するものとして評価しない提案を下記のとおり通知します。なお、落札者となった場合、下記提案を履行する必要はありません。

工事名：○○工事

評価しない提案	理由
① ●●の提案	●●のため
② ○○の提案	○○のため

様式3 技術提案の改善過程（第15条関係）

総合評価落札方式における技術提案の改善過程

工事件名	〇〇〇高架橋工事
契約機関名	〇〇支社
入札公告	平成 年 月 日
技術提案の提出	平成 年 月 日
技術対話	平成 年 月 日
技術提案の再提出	平成 年 月 日

【技術提案の改善に係る過程の概要】

項 目	●●●●社		●●●●社		●●●●社	
	発注者からの 改善要請事項	競争参加者の 改善状況	発注者からの 改善要請事項	競争参加者の 改善状況	発注者からの 改善要請事項	競争参加者の 改善状況
基礎工	施工ヤード位置 の変更	指摘に基づき改 善				
架設工法	安全性確認のため〇〇工法の作 業手順書の提出 を要請	作業手順書の資 料を提出				
下部工 接合方法						

様式 4-1 入札状況調書（第20条関係）

入札状況調書（総合評価落札方式）

工事名 : ●●道 ●●工事
 入札日時 : 平成 年 月 日 午前・午後 時 分
 入札場所 : 西日本高速道路株式会社 ○○支社入札室

契約制限価格【契約参考価格】	
低入札基準価格	
審査対象基準価格	
価格評価基準額	

※上記金額は消費税及び地方消費税抜き

業者名	技術評価点 ①	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札価格	価格評価点 ②	評価値 ①+②	入札価格	価格評価点 ③	評価値 ①+③	

※落札価格は、入札書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する金額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を四捨五入した金額)とする。

落札者	入札金額	円	執行者	印
会社名	上記金額の100分の5に相当する金額		立会者	印
代表者名		円	立会者	印
	落札価格	円		

様式 5 技術提案評価結果通知書（第 21 条関係）

文 書 番 号
平成 年 月 日

商号又は名称
代表者氏名 殿

西日本高速道路株式会社
●●支社長 ●● ●● 印

技術提案評価結果通知書

下記工事の入札においてご提出いただいた技術提案書について、入札説明書第 8（●）●後段に基づき評価しなかった提案を下記のとおり通知します。

工事名：○○工事

評価しない提案	理由
① ●●の提案	●●のため
② ○○の提案	○○のため

標準例3 標準契約書記載例（第17条関係）

標準契約書における追加条項記載例

【評価方法について、技術提案における性能等を貨幣換算値化する方式を含む場合に、契約書末尾に次の附則を付記する。】

附 則

発注者は、発注者が提示した上部工架設の作業日数（平成〇年〇月〇日から平成△年△月△日まで〇〇日間）【標準案として設定した性能等の値について、求める技術提案の内容に応じて適宜記載】に対し、受注者が入札時に提案した上部工架設の完了時期を繰り上げるための短縮日数（〇日）【求める技術提案の内容に応じて単位等を適宜記載】について、受注者の責めに帰すべき事由により実施されていないと認められる場合は、実際に確認できた短縮日数【求める技術提案の内容に応じて性能等の内容を適宜記載】に基づき評価値が変わらないように技術評価点の減点分を価格評価点に置き換え、それに相当する金額を契約不履行の違約金として請求するものとし、受注者はこれに応じなければならない。

[違約金算定式]

受注者の支払金額(円) = $(Z - X) / 100 \times$ 契約制限価格 (円)

なお、Zは下記のとおり区分するものとする。

(ケース1) 減点分を付加した価格評価点の額が、価格評価基準額以上の場合

($a + b \leq 100$)

$$Z = \sqrt{2(100 - a - b)(100 - X_0)} + X_0$$

(ケース2) 減点分を付加した価格評価点の額が、価格評価基準額未満の場合

($a + b > 100$)

価格評価点100点から技術評価点の減点分を差し引いた価格評価点の金額から価格評価基準額を差し引いた額を違約金とする。

$$Z = \sqrt{2a(100 - X_0)} + X_0$$

X : 当初入札率 (%)

Z : 変更入札率 (%)

X₀ : 価格評価基準額 / 契約制限価格 × 100 (%)

a : 技術評価点の減点 (点)

b : 当初価格評価点 (点)